

仙台市議会議員 岡部 恒司

# 仙台市議会活動レポート

## 令和2年第4回定例会報告

■発行人 岡部恒司  
■ご意見ご要望は 0981-093333 仙台市青葉区柏木2-4-16 1501  
電話 022-271-1770 <http://okabekeji-sendaijimusho.jp>  
写真: 大崎八幡宮

令和3年がスタートいたしました。年も改まりましたが、新型コロナウイルスの拡大が収まらず、正直新年を祝う気持ちになれないところ。残念ながらこの状況が続く事を覚悟して、出来るだけの予防対策を行っていただきたいと思います。

今回の仙台市議会報告は、令和2年第4回定例会(12月3日~18日)の報告をさせていただきます。第4回定例会では、新型コロナウイルス対策費を含む補正予算2件を含む議案25件を可決いたしました。

今回のレポートは「自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、他会派代表質疑の主な質問項目を掲載させていただきました。是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

### 自由民主党代表質疑抜粋

#### 新型コロナウイルス 感染拡大防止策

**質問** 新型コロナウイルスの猛威は本市においても衰える気配は無い。陽性者

のうち軽傷または無症状で、子育て等の諸事情により自宅療養の支援を希望される方へ食料品や日用品などの生

活支援策が計上されている。自宅療養を希望される方が多くなると推察するが、その対応について伺う。

**答え** 陽性患者の自宅療養に対し、宿泊療養の方には食事等の提供があることとの均衡も考慮し支援を実施する。対象は、子育て等によりやむを得ず自宅療養となる方のほか、感染が急拡大する場合がございます本人のご事情等によらず自宅療養となる方を想定している。さらに要請確認後に一定期間自宅に待機いただくことが生じた場合にも、支援の対象とする。

**質問** 宮城県との協力体制について尋ねる。本市のクラスターが相次いでいる現場に、医療体制は間に合うのか。合わせて病床数、PCR検査体制は足りなくならないのか、現場の分析と見通しを伺う。

**答え** 高齢者施設で複数のクラスターが確認され、特に高齢者の入院患者が増加したことから、病床数を約7床増やして160床程度に拡充することとし、必要な医療体制確保に取り組んでいく。検査体制は、地域の身近な医療機関での検査体制の拡充に努めているほか、帰国者・接触者外来を担っている医療機関等と連携し、感染状況に応じた体制を構築している。

#### 3病院の移転・統合について

**質問** 市長は村井知事を訪ね、宮城県立がんセンター、仙台日赤病院、東北労災病院の3病院の移転・統合を予定する県側の考えを質した。実際に知事とどのよう



な話をされ、どのような受け止めたのか。今後、市長は仙台日赤病院と東北労災病院についてどのように関わっていくかと考えているのか見解を伺う。

**答え** 3病院はいずれも市民の医療にとって大変重要なものであり、多くの関係者から現地存続を求める切実な声が寄せられている。皆様の意見を丁寧に聞きながら検討を進めるべきであり、状況を積極的に示す必要があることを強く訴えた。情報を早期に示し、市民・県民の安心できる地域医療の確保につなげていくべきと考えている。

経済支援について

【質問】本市ではセーフティネット保障関連融資及び危機関連融資の認定に関わる窓口を開設している。これまでの認定件数の推移とその効果についてどのよう

【答え】認定件数は5月の1739件をピークに減少傾向となり、10月以降は概ね400件前後で推移し、累計7532件に上っている。

多くの事業主が融資を利用したことを考えると、地元の中小事業者の資金繰りと事業継承の下支えに一定の役割を果たしている認識している。

【質問】窓口は今後も必要と考える。

さらに感染が拡大した観光関連事業や、飲食店へ



の経済的な支援について今後どう取り組んでいくつもりか。観光関連事業や飲食店、特にイベント関連業者の末端に至るまで、さらなる経済的支援継続や拡充に向けた必要性について伺う。

【答え】イベントが街の賑わい、ひいては地域経済にもたらす影響は大きいものであると改めて認識した。今後も感染状況を注視するとともに、国の3次補正も踏まえ、必要な支援に取り組んでいきたい。

国の財政支援の拡充について

【質問】令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、

市税収入の大幅な減少や新たな財政需要に伴う収支差の拡大により、令和2年度よりもさらに厳しい財政運営を迫られる。地方創生臨時交付金の追加はもとより、財源不足に対する地方交付税の増額確保、国の財政支援拡充に向

けた働きかけを強め、最大限活用することで財源を確保していく姿勢が求められる。市長はどのように認識し、どのように対応しようとしているのか。

【答え】新型コロナウイルスの影響により市税収入の大幅な減少が見込まれる一方で、感染拡大防止と地域経済活動の両立を図っていくためには、国からの財政支援を最大限活用することが重要だ。国が進めている第3次補正予算に対して、要望を行ったところで、安定的な財政運営を行うことができるよう働きかけを行っていく。

予算編成について

【質問】示された財政見通

しでは、市税収入や地方消費税交付金等が減少し、令和3年度からの3年間で1162億円の収支差が見込まれる。自主財源比率を引き上げる取り組みを進めるべきだが如何か。

【答え】都市税源の拡強化や大都市特例税制の創設、財源の移譲等について国に求めている。積極的な税源涵養、市税、保険料等の収入確保のほか、市有財産の有効活用やネーミングライツなどによる財源創出の取り組みを進め、安定的な自主財源の確保につなげていきたい。

【質問】「特別自治市」の実現に慎重姿勢を示したと報じられている。政令市の悲願でもある「特別自治市」に対する方針転換とも受け取られる趣旨の発言の確認を含めて伺う。

【答え】各市が目指している姿は、歴史や地域の違い等により必ずしも同一ではない。指定都市市長会に「多様な大都市制度実現プロジェクト」が設置されたところで、プロジェクトに参加し積極的に議論していきたい。「特別自治市」への移行にあたっては、県

や周辺自治体と十分な協議を行いながら進めていくことが肝要で、その認識を示したもので、私の「特別自治市」を目指すという考えは変わっていない。

【質問】感染症が地方財政に与える影響は令和3年度の方が大きい。事業の見直しによる財源捻出や地域経済の回復・活性化策による税源涵養はもとより、さらなる基金の活用も視野に入れ、あらゆる方策を最大限講じると述べている。令和3年度予算編成においてどのような方策を講じようとしているのか、現時

点での検討状況を伺う。【答え】来年度に向けた対策は、今年度の補正予算で計上した資産管理基金からの借入のほか、地下鉄整備の償還財源等に用いる高速鉄道建設基金や土地開発基金といった基金について活用できないかの検討を進めている。

都心再構築プロジェクトについて

質問 昨年の7月からスタートした「せんだい都心再構築プロジェクト」は、今年の4月には建替え助成支援の第1号として「NTT仙台中央ビル」の計画が指定された。コロナ禍で民間投資の先行きが不透明な中、引き続き本プロジェクトの活用事例が、第2号、第3号と続くことを期待している。

せんだい都心再構築プロジェクト

働く場所、楽しむ場所として選ばれる、  
杜の都の個性きらめく、躍動の都心

トに関する民間事業の現在の動向について伺う。  
【答え】コロナ禍の影響を受け、一部では協議の進捗が遅れが見られる。

【質問】仙台駅、青葉通と一番町、勾当台と定禅寺通りの各エリアと、それぞれを結ぶ周辺エリアを含めた「都心機能強化の重点ゾーン」の回遊性を高めることが、都心再構築につながるかと考えるが如何か。  
【答え】重点ゾーンを、中心の都市空間に転換し、都心全体の日常的な賑わいと活力を創出し、継続的に発展する都心づくりを進める大

の、新規に完成するオフィスビルの入居需要も依然として高いことから、9月に拡大された都市再生緊急整備地域における相談も含め、複数の建替え計画が指定に向け協議を進めている。本年10月には、容積率の緩和を拡充し、開発事業者の選択肢を増やす第2弾施策を公表した。  
今後建物オーナーの建替えに向けた後押しを行い、事業化に向けた検討を支援していく。

【質問】本市のまちづくりにおける新たな方向性を示す、基本計画と都市計画マスタープランの改定が今年度末に予定されている。今後東北の中核都市である本市が、中間案の目標像に掲げている「選ばれる都市」となるため、どのような「都心」を目指すのか。  
【答え】経済活動や人の交流の中心となる舞台となる都心の機能強化を進め、エリア毎に個性が溢れ、回遊性が高く歩いて楽しめる空間や国際的なビジネス環境を備え、多くの市民や来

訪者が集い、交流する都心を目指していきたい。  
変重要な取り組みである。既存建物のリノベーションによる若者を惹きつけるような魅力的な通りづくりとともに、公共空間など、オープンスペースの活用を民間事業者等と連携しながら推進し、居心地が良く巡り歩きたくなくなる回遊性の高いまちづくりを進めていきたい。

森林環境譲与税について

質問 昨年度から森林環境譲与税が各自治体に配分され、本市には約1億6000万円余りが配分された。森林経営管理をする方針と今後の進め方、同制度の基本的考え方、今後配分される譲与税の使い道とその優先順位について伺う。  
【答え】国土の保全や水源の涵養など多くの公益的機能を持つ森林を適切に整備・管理するために財源を確保する観点から創設された。まず、林地台帳の整備、森林所有者への移行調査や森林資源の解析調査など森林の経営管理の基礎となる作業に重点的に充ちている。

【質問】森林情報調査の計画と、現在までの進捗状況について伺う。  
【答え】令和7年度までに地域全体の林地台帳の整備を完了させ、森林所有者に対する森林経営の意向調査を進めることを目指し、令和4年度までに市内の森林資源の解析調査を行う予定だ。

【質問】本市の砂利道主体の林道を管理するにあたり、総延長106km、47路線の現状、及び課題、並びに今後の対策について伺う。重ねて、人員体制について林務係5名では充分ではない、見解は如何か。  
【答え】パトロールを行ってはいませんが、令和元年東日本台風をはじめ、近年林道を損傷させる大雨が頻発しており、森林環境譲与税の増額とともに事務量が增大する。  
今後林道のパトロールについて業務委託するなど、より効率的な業務執行に努めていきたい。

仮設エアコンの  
移設について

**質問** 学校エアコンは全小中学校の設置が夏に間に合わず、緊急対策として家庭用ルームエアコンも、充分稼働できなかった。工事が遅れた原因と発注方法の分析を伺う。

**答え** 工事の発注に際し、一部で入札不調が生じ、当初の見込みより工事着手が遅れたことが大きく影響した。

コロナ感染症の影響により、夏休み期間中に授業を行うこととしたため、暑さ対策は必須であるとの認識のもと、仮設によるルームエアコンを設置した。

**質問** 今回の移設経費は一台あたり268000円と示されている。大変高額と驚き、新品を買うほうが安い。高額な移設費は財源の非効率的な執行になっていないか、さらに前回同様契約不調に陥る心配がないのか伺う。

**答え** 標準的な施工内容のモデル校を選定し、移設する教室や分電盤の位置の確認など現地調査を行い、国の基準に基づき積算したものだ。令和3年6月末までの移設完了に向け取り組んでいく。

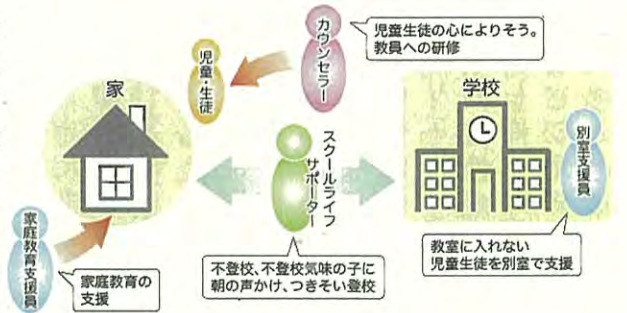
不登校対策について

**質問** 不登校に関する調査結果が明らかになり、状況は悪化している。提言された不登校児童生徒への支援について現場の実施状況を伺う。

**答え** 学校内の居場所として個別支援の機能を持つ別室の設置や、不登校傾向にある児童生徒を支援する「学校訪問相談員」の拡充、フリースクール等の民間施設との連携等の有効性が報告された。

本年度からは市立中学校5校の別室を「ステーション」と位置づけ、専任の教員を配置する組織取り組みや学校訪問相談員の拡充を図り

不登校対策支援事業検討会議が提案する不登校児童生徒の支援



不登校対策のさらなる充実に努めていく。

**質問** いじめ認知件数も改善されず、教員の多忙化も解消されていない。予算投入した35人以下学級の導入は効果があったとの認識か。

**答え** 調査では「生徒の様子を日々捉えて、指導に生かせる」、「生徒に多くの活躍の機会が与えられる」、「担任が行う業務量が減った」といった声が寄せられ、学習生徒指導の充実が図られたと考えている。

**質問** いじめ調査の回答を改ざんした七北田小学校の講師を懲戒免職処分にした。担任の講師が自らの保身のため改ざんした。言語道断で、組織的でないことを祈る。市長は自身が条例を制定した形の趣旨が生かされていないのではないかと疑念を持つが見解を伺う。

**答え** いじめから子供を守る立場の教員が行ったものであり、私自身大変重く受け止め、児童生徒・保護者の皆様を含め、市民の皆様すべてに大変申し訳なく思っている。教育委員会とともに対策を進めていく。

マイナンバーカードの交付について

**質問** 課題は交付通知書を提出してから交付まで時間がかかることや、コロナ禍にあって三蜜回避が求められる中で、担当部署に人が集中するなど挙げられる。区役所等でも夜間や土

日の交付窓口開設を検討するなど、工夫が必要と考えるが如何か。

**答え** スマートフォンなどで窓口における混雑状況を確認できるシステムを全区に導入し、10月には平日夜間や土日にも交付事務を行う「マイナンバーカード直接センター」を設置し、体制強化と分散化に勤めている。

今後特設センターの稼働率の向上を図るほか、区役所における休日窓口の開設など、交付体制を強化する方策を検討していく。

**質問** 国は令和4年度末までの全国民に交付を目指しているが、この取り組みについての認識を伺う。

**答え** 自治体には、これに必要な体制の整備が求められる。本市としては国が目指す目標のもと引き続き円滑な工夫に努めていきたい。

デジタル化の推進

【質問】何よりも、利用者目線、市民目線で全庁一丸となって進めていくことが求められるが、

【質問】何よりも、利用者目線、市民目線で全庁一丸となって進めていくことが求められるが、

【質問】何よりも、利用者目線、市民目線で全庁一丸となって進めていくことが求められるが、

【質問】何よりも、利用者目線、市民目線で全庁一丸となって進めていくことが求められるが、

創造性や活力に満ちたまちづくりを進めていきたい。

介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

【質問】介護従事者等への支援について

新型コロナによる介護事業所への影響



約7割の事業所が「影響は大きい」と回答

新基本計画について

【質問】今回の基本計画

【質問】今回の基本計画

【質問】今回の基本計画

【質問】今回の基本計画

次期「杜の都環境プラン」について

【質問】杜の都環境プラン

【質問】杜の都環境プラン

【質問】環境都市像として

【質問】環境都市像として

【質問】環境都市像として

【質問】環境都市像として

【質問】環境都市像として



青葉山周辺まちづくりについて

質問 大手門の整備について、令和18年の伊達政宗没後400年を... 目指す進捗を期待するが、今後どのような方向性で大手門復元に取組んでいかれるのか。見込まれる大きな財政負担への対応なども含め所見を伺う。

答え 今後10年をかけて基礎調査、発掘調査を行うこととしており、復元整備に向けた具体的なスタートを切りたい。大手門の復元整備は国庫補助事業を



活用するため、歴史的建造物の位置、規模等に関する十分な根拠を示しうる調査成果が必要となる。着実な発掘調査を進め、確かな復元整備事業につなげていきたい。没後400年での復元という夢と目標を持って一歩一歩着実に進めていきたい。

質問 青葉山公園は、本市が誘致し令和5年度の「全国都市緑化フェア」の中心ともなる公園であり、公園センターの整備内容や運営方針は大変重要なポイントと考えるが如何か。

答え 全国都市緑化フェアの開催は、仙台・青葉山の魅力を国内外に広く発信する大変貴重な機会であり、フェア開催時には公園センターの機能を十分に発揮できるように整備を進めていく。

質問 音楽ホールの建設費が218億円、管理運営費用に年間7億円

の試算が示された。本市の毎年の投資的経費の規模はおよそ700億円だ。人口減少が進む状況下で、まとめられた需要想定調査では回復が2022年からとなっており、中には来年4月から回復を見込むものも見られる。全世界でこれほど厳しい先行きが不透明な状況の中にあつて、この見通しは甘いと言わざるを得ない。

青葉山交流広場の土地は一部東北大学の所有が含まれており、加えて埋蔵文化財包蔵地の遺跡エリアでもある。あらかじめ調査が行われたのか、懸念を感じるが経緯について伺う。

答え 候補地の一つである青葉山交流広場に関しては、敷地の一部を所有している東北大学と意見交換を行っている。仮に音楽ホールを建設する場合には発掘調査が必要とはなるが、建物の建設は可能であると考えている。

の試算が示された。本市の毎年の投資的経費の規模はおよそ700億円だ。人口減少が進む状況下で、まとめられた需要想定調査では回復が2022年からとなっており、中には来年4月から回復を見込むものも見られる。全世界でこれほど厳しい先行きが不透明な状況の中にあつて、この見通しは甘いと言わざるを得ない。

質問 重要な議案やテーマについて、議会はもちろんのこと宮城県民会館の更新という同様の施設整備を予定する知事や、県の当局者とも情報を共有しているのか。宮城県は「公共施設等適正管理推進事業債」の適用を検討した経緯もあり、連携を強めて整備を進めてもらいたいと思うが、如何か。

答え 新県民会館は「電子音響重視のテクノロジー進化に対応した多目的ホール」とすることから、生音を重視する本市の音楽ホールと



役割分担を図り、市、県、それぞれで整備を進めていくことが望ましいものと考えている。今後、情報共有を図りながら音楽ホールと新県民会館の双方が役割を十分に発揮できるよう対応していきたい。

質問 本市の財政を踏まえ、将来世代に負担を押し付けず、コロナ禍という事情も考慮して慎重に進めるべきとの声が多数だ。この際、一度立ち止まって慎重な判断をすることを求めるが、如何か。

答え 音楽をはじめとした文化芸術は震災からの心の復興に大きな役割を果たした。コロナ禍を乗り越えていく過程においても文化芸術の力は必要不可欠である。

音楽ホールは市民の皆様の心の支えとなる文化芸術の拠点として多くの市民から整備が望まれている。



**中心部震災メモリアル拠点について**

**質問** まもなく震災から10年の節目を迎える現在、立地も含めた整備の方向性を打ち出すべきと考えるが如何か。

音楽ホールなど他施設との合築を検討しているのか、確認のため伺う。

**答え** 他施設との合築についてもそれぞれの施設の目的や経過を考慮しつつ、コスト削減なども含め検討を進める。震災の記憶の風化も懸念される中、経験と教訓の継承・発信の取り組みの重要性が一層

高まっているものと認識している。立地場所を含め中心部震災メモリアル拠点に関わる基本構想を早期にお示しできるよう取り組んでいく。

**本庁舎建て替えについて**

**質問** このたび基本設計者が決まった。選定報告書をもとに設計業者を選ぶものと思っていたが、報告書を見る前に結果が発表された。あらかじめストーリーが決まっていたかのような運びに市民から疑問を抱く方がいないと考えるが如何か。

新庁舎がガラス張りのデザインでは地震が発生した場合、天井の落下が心配との不安の声が説明会でも聞かれたが、考えを伺う。

**答え** 公募型プロポーザルは、適切に設計を行うことができる実績や能力がある受注候補者を選ぶものだ。本庁舎は災害時における議



会・行政機能の業務継続性の強化や、市民の安全・安心を確保するため堅固である事は極

めて重要と考えており、今後受注候補者との協議を進める中で設計に反映させていく。

**質問** 再び東日本大震災の規模の地震に見舞われてもびくともしない堅固な庁舎が望まれる。また環境面においても理念をリードするような、次世代型の新庁舎を求めます。コロナ禍にあり財源不足も懸念される中で慎重な進め方を求める。

**答え** 市民の安全・安心を確保する司令塔としての機能を果たすためには、強固な庁舎であること、また将来を見据えた持続可能な社会を目指す上では、環境負荷の低減を図る事は大変重要である。引き続き整備費用の精査とともに議会や市民の皆様のご意見も伺いながら、防災環境都市にふさわしい庁舎の実現を目指していく。

**ご意見お待ちしております!**

**みなさんの声で住みやすい仙台を!**

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたらお気軽にお知らせください。

**●仙台市政**に対してのご意見を一言お願いいたします。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

# 他会派代表質疑の主な項目

## 公明党

- 音楽ホールに関わる宮城県との連携や慎重な判断を
- いじめ実態調査における教員による回答改ざん問題
- 新型コロナウイルスのワクチン接種体制
- 感染防止策と経済対策の両立
- 宮城3病院統合と知事との会談

## 日本共産党

- 高齢者への新型コロナウイルス対策の徹底と拡充
- 戦災復興記念館はさらに役割が発揮できるように整備を
- 少人数学級は国の方針待ちをせずに、小学校の未実施学年へ拡充すべき
- パートナリシップ制度の導入表明
- 知事が3病院統合中止を決断すべき

## 民主フォーラム仙台

- 高齢者施設職員のPCR検査
- 新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷防止策
- 飲食店が年末年始を乗り切るため本市独自の経済支援創設を
- 放課後等デイサービスの利用回数を原則週5日に変更すべき
- 国際センター展示棟は長期貸し出しを可能にし、大型イベントの積極的誘致で利用料金収入の向上

## 社民党

- 新型コロナウイルスの対策につながるわかりやすい情報提供の工夫
- 遊び場整備に子供の意見反映を
- 地方進出を検討している企業の誘致活動強化を
- 失業等の防止を目的とした公的支援制度利用へ雇用主の協力
- 都心再構築プロジェクトに基づく高機能オフィスビル建設

## 蒼雲の会

- 将監複合施設の新築は地域の他世代交流モデルケースに
- 危機的な介護人材の不足には市の主体的な取り組みを
- ベガルタ仙台佐々木新体制への期待とスタジアムパーク構想
- 新型コロナウイルス第3波の影響で厳しい状況におかれている事業者を守るための経済政策の拡充 など



ご意見お待ちしております!

〒981-8790

郵便はがき

9818790

投函される場合は恐れ入りますが、63円切手を貼付してご投函お願いします。

仙台市青葉区  
柏木2丁目4-16-501

仙台市議会議員 **岡部** 恒司 行

※是非ご記入ください。

お名前	様
ご住所	

皆さんの声をお聞かせください!

# みなさんの声で 住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が  
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。  
または、お電話・FAXでも承ります。

## 仙台市議会議員 岡部恒司

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 2-4-16-501  
TEL022-271-1770 FAX022-271-1786

岡部 恒司ホームページ  
<http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

岡部 恒司

検索

